

さいたま市の取り組み  
(さいたま市高次脳機能障害者支援事業)



さいたま市障害者更生相談センター  
精神保健福祉士 曲淵 祥子

# さいたま市

---

- ▶ 平成13年 浦和市、大宮市、与野市が合併して誕生
  - 平成15年 政令指定都市に
  - 平成17年 岩槻市が合併

- ▶ 面積 217km<sup>2</sup>
- ▶ 人口 129万人
- ▶ 10の行政区



- ▶ PRポイント♪  
サッカー、鉄道、スイーツ、自転車、盆栽の街



# 高次脳機能障害

## さいたま市の状況（事業開始前）

---

### 市民の声

「どこに相談したらいいか  
分からない。」



### 関係機関職員の声

「支援が難しい。」  
「うまく対応できなかった  
ことがある。」



平成24年12月

### 当事者団体からの要望書

「高次脳機能障害の第一次的相談窓口を明確にしてください。」  
「高次脳機能障害支援の拠点を、さいたま市にも開設してください。」等



平成25年度から市としての取組みがスタート

---



---

市民の声  
「どこに相談したら  
いいかわからない。」



一次相談窓口を明確に位置付けました。

各区の支援課と  
障害者生活支援センター

関係機関職員の声  
「支援が難しい。」  
「うまく対応できな  
かったことがある。」

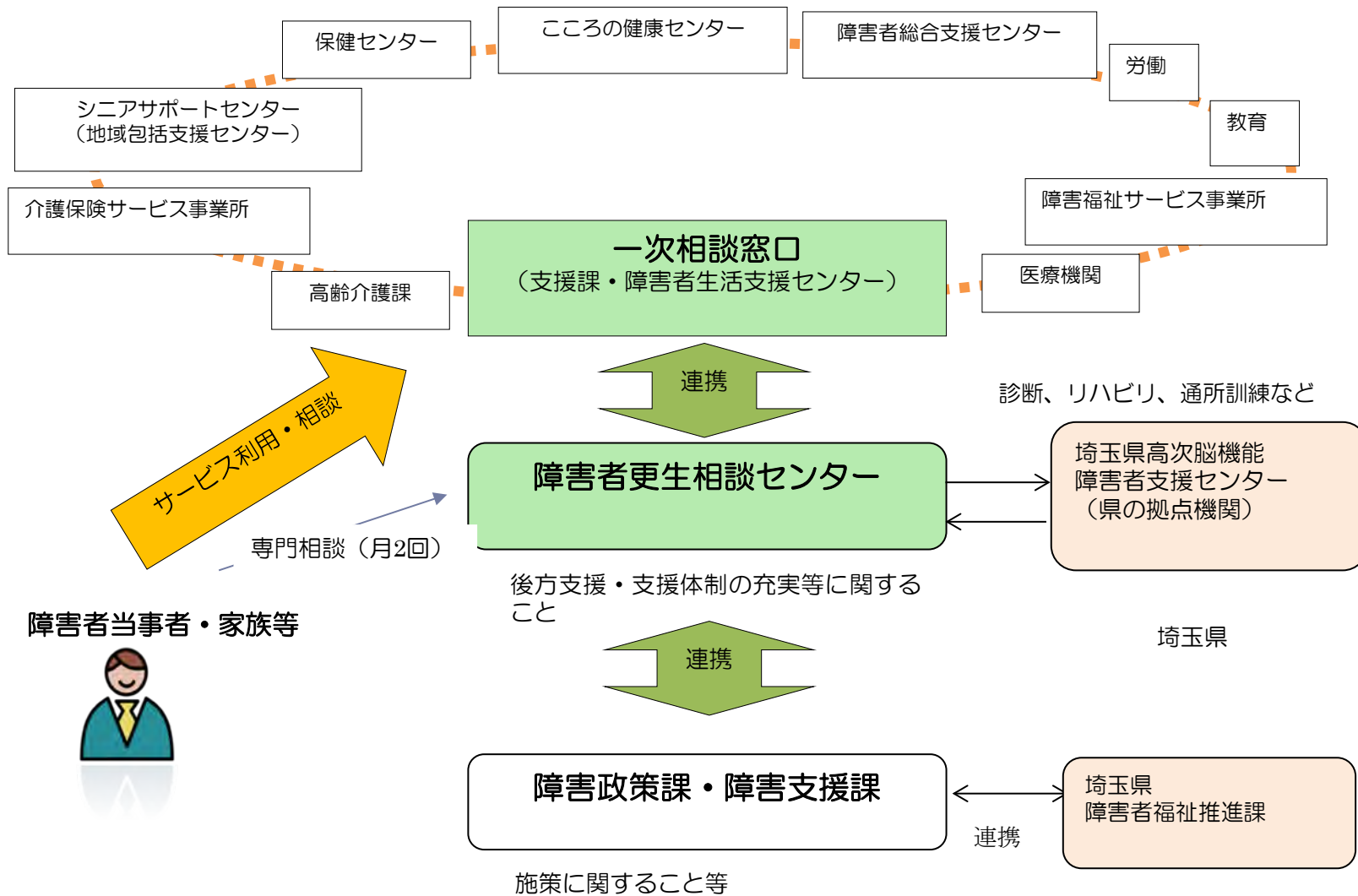


障害者更生相談センターが後方支援  
機関としての役割を担うことになりました。

関係機関からの相談対応  
定期的な研修開催や普及啓発等

---

# さいたま市の支援体制（イメージ図）



# 相談件数の推移

---

## ▶ 一次相談窓口（支援課・障害者生活支援センター）の対応件数

平成24年度	平成25年度 ★事業開始	平成26年度
220件	377件	498件

## ▶ 障害者更生相談センターの対応件数

平成25年度 （半年間） ★事業開始	平成26年度 （1年間）	平成27年度 （1年間）	平成28年度 （1年間）
62件	358件	458件	687件



# 障害者更生相談センターの取り組み（Ⅰ期）

---

- （１） 後方支援
- （２） 地域支援体制の充実
- （３） 施策への反映



# (1) 後方支援に関すること

## ▶ 支援マニュアルの作成

〔 基本的な症状、気づきのポイント  
利用できる制度や社会資源 等 〕

## ▶ 支援者向け研修の開催

## ▶ 相談支援

関係機関からの問い合わせや相談に対応

高次脳機能障害者の理解と支援の充実を目指して  
さいたま市一次相談マニュアル（暫定版）



気付こう、つなごう、高次脳機能障害者への支援

平成 25 年 10 月

さいたま市障害者更生相談センター





### (3) 施策への反映に関すること

---

- ▶ 市の方針を定める計画に、高次脳機能障害者支援に関する項目を掲載



# とりくみのなかで見えてきたもの（課題）

- ▶ 本人や家族に、必要な情報や支援が届いていない

当事者会「地域で共に生きるナノ」「脳外傷友の会さいたま」との情報交換  
支援・情報交流交換会での参加者の発言より

## 普及啓発

情報がない。  
相談先や使えるサービスがあることを知らなかった。

役所に相談に行っても、高次脳機能障害を知らなかった。

## 人材育成

家族が参ってしまう。  
家族にも支援が必要。

## 家族支援

制度を利用したいが、診断書を書いてくれる医療機関が見つからない。

## 資源開拓

通える場所ない。

本人に自覚がないので、相談やりハビリにつながらない。

## ステップの場作り



## 障害者更生相談センターの取り組み（Ⅱ期）

---

「あったらいいな」  
を少しずつ形に



# 普及啓発



## こころのホームルーム 21

### 特集「高次脳機能障害について」

#### ※ 高次脳機能障害とは

高次脳機能障害とは脳の病気や、交通事故等の外傷により、脳が損傷を受けた後に起こる障害です。厚生労働省の診断基準では、「記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害」の四障害を指しますが、脳の損傷部位によって様々な症状が出現します。(図2、表3を参照)日常生活や社会生活を送る上で困難を生じやすい。見からは障害が分りにくく、当事者に自覚がないものも多いため、「見えない障害」とも呼ばれています。ため、障害があると認識されないまま家族が抱え込めようとする傾向が多く、適切な理解と支援が必要です。「脳機能障害者は全国では約50万人、さいたま市では約5000人と推計され、男女比では2:1程度の割合で男性が多いと言われています。急性脳損傷の進歩により一命をとりとめたものの、高次脳機能障害になる方は、今後増え続けると予想されています。

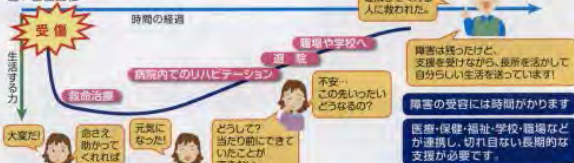
表1 高次脳機能障害の原因

- <脳の内傷>
  - ・脳血管障害（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等）
  - ・脳腫瘍、脳炎、脳症など（インフルエンザ脳症等）
- <脳外傷> 交通事故、スポーツ事故、墜落・転倒等
- <その他> 心筋梗塞や溺水による低酸素脳症等

#### ある日のAさん

Aさんは交通事故にあったが、幸い身体障害は残らなかった。ある日、友人との約束を忘れ（記憶障害）、慌てて外出の準備を始めたものの、段取りが悪く（遂行機能障害）バスに乗り遅れてしまった。またバス待ちの間に、列に割り込んで来た相手に腹を立て、大声で怒鳴ってしまった（社会的行動障害）。バスを降りたところで迷い（地誌的障害）探し回っていると、友人の姿が目に入り、赤信号を見逃して渡るうと（注意障害）、車にクラクションを鳴らされてしまった。

図1 回復過程



#### ※ 治療とリハビリテーション

まず原因となった病気（脳梗塞・脳外傷等）に対して治療が行われます。その後、障害の程度や時期に応じて作業療法士や言語聴覚士等によるリハビリテーションが行われます。

高次脳機能障害のために「怒りっぽい」等の症状がみられたり、二次障害として抑うつ状態にある場合は補助的に薬物治療が行われることがあります。

#### ※ 周囲の方に大切にしてほしいこと

思いがけない病気や事故による障害のため、当事者、

家族ともに大きな混乱と戸惑いの中にあることを理解するように努めます。高次脳機能障害では、どこまでが元来の性格や能力で、どこからが障害なのかを厳密に区別することは難しいため、できていることを評価してあげることが大切です。また、当事者だけでなく、家族自身の生活や健康も大切にします。

表2 支援のポイント

- ・今までの生活や人生活、プライドを尊重する。
- ・時間をかけて徐々に回復に向かうことを理解する。
- ・障害の特徴や程度は、一人一人違うことを理解する。
- ・当事者が主体的な行動ができるよう、周囲の環境を整える。
- ・当事者が自己決定できるような支援を行う。
- ・家族や支援者も、必要な援助を受けながら見守る。

図2 脳損傷部位と主な症状

脳が損傷された部位によって、図のような症状が主に出現しますが、脳はいくつもの部位が神経ネットワークでつながっているため、実際の症状の現れ方は多種多様です。



表3 主な症状とその対応

障害	主な症状	対応方法の例
記憶障害	新しいことが覚えられない。	短く繰り返し伝える。メモの活用。
注意障害	集中力が続かない。複数のことに同時に気が配れない。	こまめに休憩。刺激の少ない環境を作る。
遂行機能障害	段取りがうまくできない。優先順位がつけられない。	具体的な指示。時間に余裕のある行動。
社会的行動障害 (行動と感情の障害)	感情や欲求のコントロールができない。やる気が起きない。	場外や話題を変え、気持ちを切り替える。イライラのリセット方法を身につける。
半側空間無視	左(または右)側に注意が偏らず、見落とす、(注目のあがきを残す等)	全体を見渡す習慣をつける。
失読症	聞いて理解する。読む、書くことがうまくできない。	短い言葉で繰り返し伝える。
地誌的障害	慣れ親しんだ地理や場所が分からなくなる。	迷った時の対処方法を用意する。
失行症	やり慣れた動作(歯磨きや箸の使い方等)ができない。	繰り返し練習。無理のない方法を考える。
失語症	見たものが何かが分からない。	他の感覚(匂い、手触り等)を使う。

※ 損傷を受けた部位や程度により症状は異なりますが、多くの方に複数の症状が重なり合って見られます。

#### ※ 社会資源や制度 ~まず相談を~

障害の程度に応じて使える資源や制度が異なり、申請先も複数に渡ります。まずはお住まいの地域にある一次相談窓口（各役所支援課・各地区障害者生活支援センター）にご相談下さい。



さいたま市のホームページで情報発信中!

さいたま市 高次脳機能障害

表4 社会資源やサービス（窓口はさいたま市の場合）

手帳	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者手帳	障害の程度や年金給付の要件を満たす方	介護保険制度	障害者総合支援法
身体障害者手帳	麻痺や失語、視野障害等のある方	概ね18歳までに受傷し、知的障害のある方	記憶や注意機能、社会的行動上の障害がある方	※	介護が必要な65歳以上(脳血管障害者は40歳以上)の方	ヘルパーが必要な方や、就労支援を受けられる方など、医師の意見書等で申請が可能
療育手帳						
精神障害者手帳						
障害の程度や年金給付の要件を満たす方						
介護保険制度						
障害者総合支援法						

※ 年金は加入先によって申請窓口が異なります。

<検索窓>  
イラストで学ぶ脳機能障害 (http://Admin01.net/)  
さいたま市障害者サポートセンター  
高次脳機能障害 (このように入力する) / 障害者生活支援課  
【高次脳機能障害】(このように入力する) / 障害者生活支援課  
高次脳機能障害等に関するお問い合わせ / http://www.city.saitama.jp  
さいたま市障害者生活支援センターホームページ

検索

# ネットワーク作り

## 高次脳機能障害者支援に関する座談会

- ▶ 年に2回開催
- ▶ 参加機関：医療機関や地域の支援機関
- ▶ 内容：情報交換、課題の共有、懇親会

## カードの作成、配布等を通じた取り組み

- ▶ 内容：Part1（表）気づきのポイント  
Part2（裏）相談先、サービスに関する情報
- ▶ 配布先：医療機関、支援機関





# 当事者グループ活動（はじめの一歩）

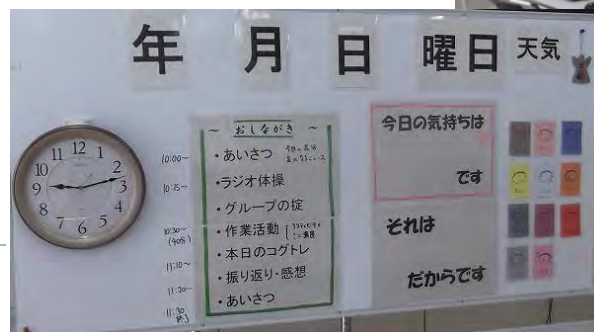
対象：さいたま市在宅の当事者

目的：①集団活動を通しての障害受容促進  
②対処方法や社会的スキルの習得  
③ピアカウンセリングの場

内容：自己モニタリング、ラジオ体操  
ミニ講座（症状、制度等）、情報共有など

参加人数：7名 \*平成29年度

スタッフ：心理/保健師/言語聴覚士  
精神保健福祉士



10月～2月(全10回)

# 高次脳機能障害 電話相談

---

- ▶ 平成29年6月からスタート
- ▶ 第1・第3月曜日 午前9：30～11：30  
(祝日、休日を除く)
- ▶ 専門の職員（言語聴覚士等）が、ご本人やご家族の相談に対応しています。

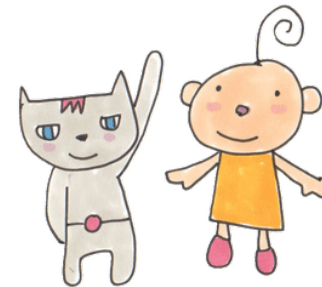




---

# NPO法人ふるすあるはとの取り組み

あったらいいな。  
なければ、一緒に作りましょう。



こ じ の う き の う し ょ う が い  
**高次脳機能障害** についてイラストで学べるページ  
ブルスアルハ×さいたま市障害者更生相談センター



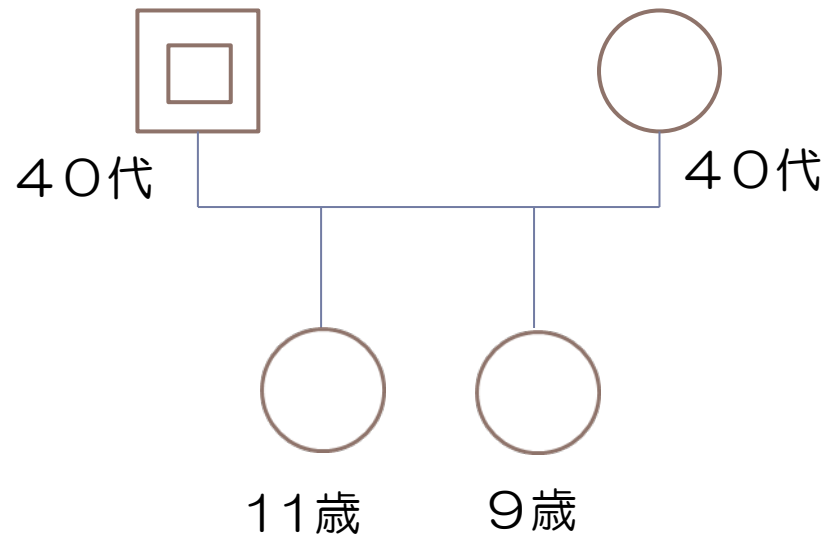
なに？  
どうしたらいいの？



# きっかけとなった事例

---

- ▶ 一家のキーパーソンだった父親が、突然の病気で高次脳機能障害に…

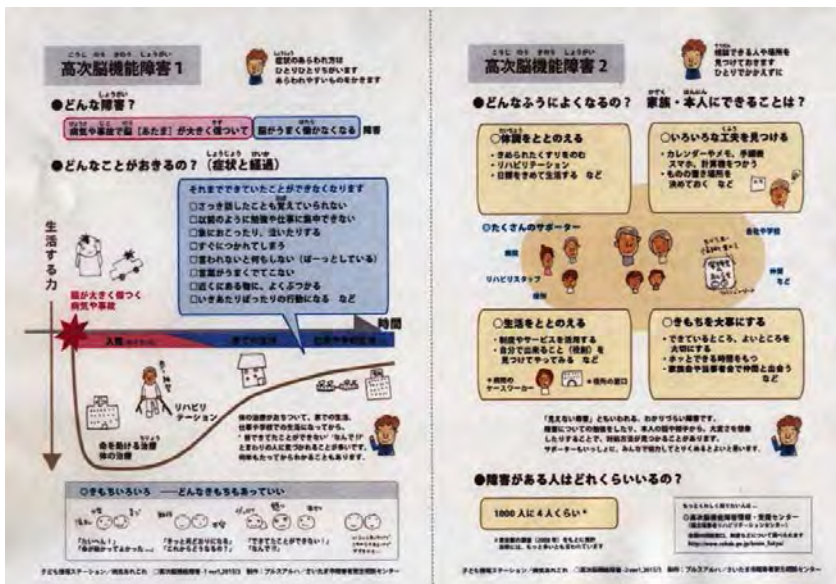


\* 匿名性を保つために加工しています。

---



# 子どもへの支援 ～不安と混乱の中にいる子どもたちに～



子どもたちにも分かりやすい  
平易な言葉で、高次脳機能障  
害を説明しています。

何が起こっていて、  
これからどうなるの？

あなたのせいじゃないよ。  
サポーターがいるよ。

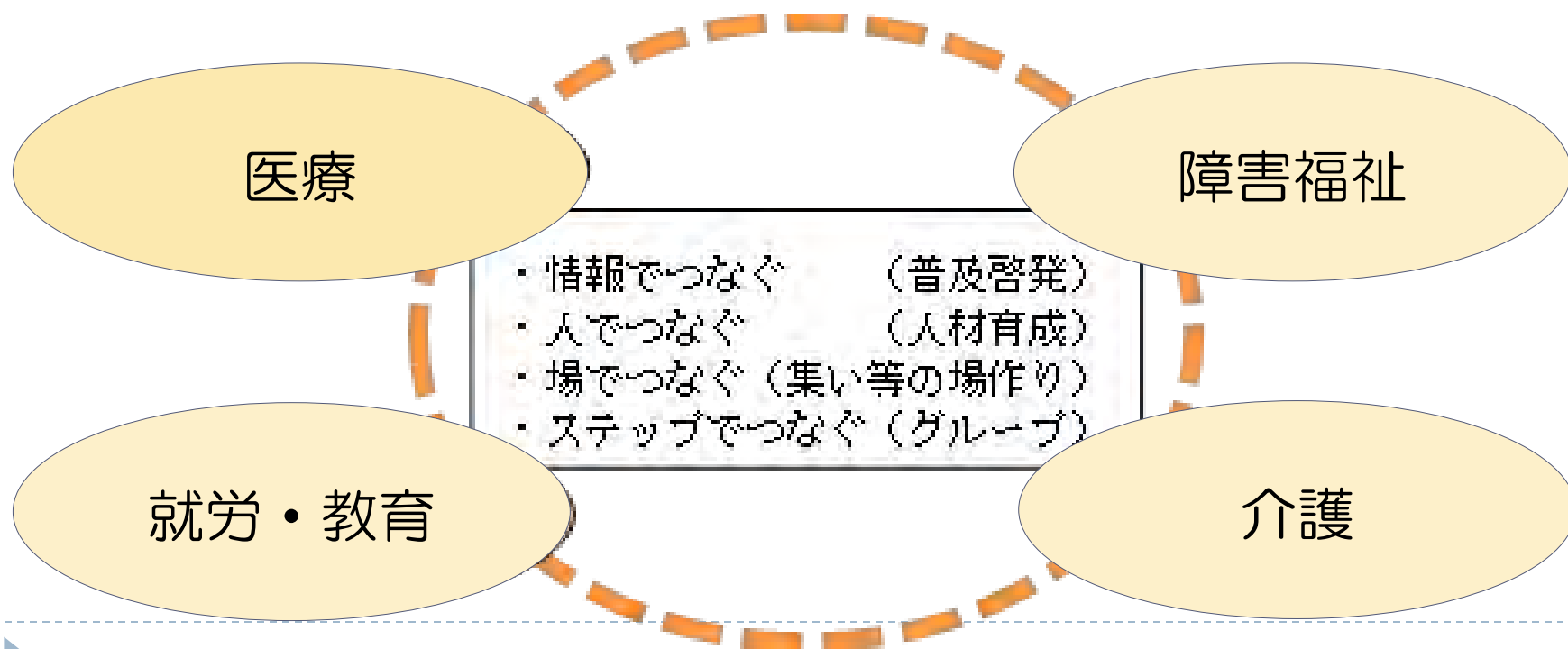
※ シート及び+αの情報を盛り込んだWEBサイトは、当センターHPより  
ご覧になれます。



# さいたま市としての今後の方向性

～必要な支援を必要な時期に、切れ間なく届けるために～

- ▶ 見えない障害に気づくための普及啓発や人材育成
- ▶ 様々な分野とのネットワーク形成
- ▶ 必要な取り組みを実現していくための体制作り



---

# 気づこう、つなごう、 高次脳機能障害者への支援

ご清聴ありがとうございました

